

Ⅱ 対象地区の概要と調査での配慮・工夫点

1. 対象地区の概要

以下、「防犯まちづくりのための調査の手引き」（2009年）を使って、実際の調査に取り組んだ下記の2地区の事例を紹介します。

北海道旭川市近文地区

近文地区は旭川市内の住宅や商業、業務用建物が混在した地区（3.8km²）で、1小学校区に対応します。2004年の大規模ショッピングセンターの出店をきっかけに、小学校での防犯や交通安全に関する取り組みが始まり、その後、社会福祉協議会をコーディネーターに自治会や小中学校、高校、警察、行政などが連携して継続的にみまもり活動（近文あい運動）を行ってきました。

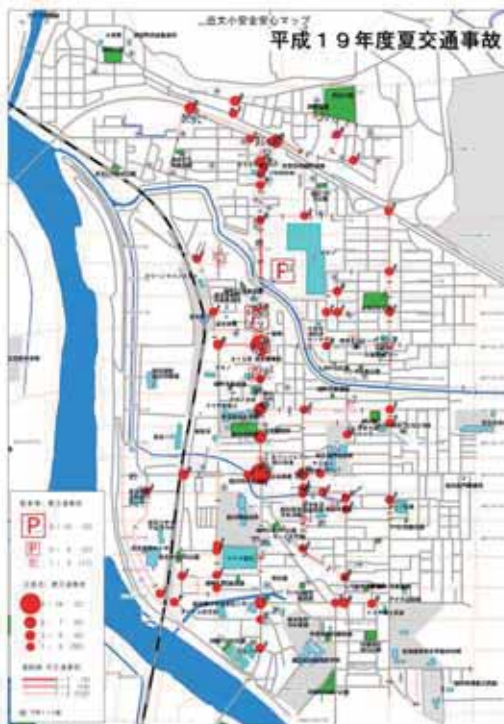
当地区では、「みまもり量調査」及び「くらがり調査」を実施しました。



■近文地区安全安心マップ(交通事故・犯罪危険箇所 平成19年度夏バージョン)

※旭川市では7m以上の降雪量があり、積雪期には外部環境が大きく変化し、犯罪や交通事故の危険箇所が異なるため、夏と冬のバージョンを作成しています。

近文地区のまちの様子



■これまでの防犯活動の取り組み

2005年9月 安全安心マップ(非積雪期編)作成

- マップづくりの準備(2004年度)
 - ・2004年の大規模ショッピングセンターの出店をきっかけに、小学校での防犯や交通安全に関する取り組みが始まる
 - ・マップづくりを通じた校区内巡り、4学年による全学年への安全啓発活動、地域へのチラシ配りや参観日に学習の成果を発表(総合学習「近文セーフティー大作戦」)
- 北方建築総合研究所(北総研)の協力により、全家庭に危険箇所等のアンケートを実施。安全安心マップを作成し、全保護者に配布。



総合学習での現場検証

2006年1月 近文あい運動

- ・各町内会長、地区社協、地区市民委員、中央警察署、交番、近文小、北門中、明成高、北総研が出席して、「近文あい運動」を立ち上げ、みまもり活動を開始
- ・集団下校で子供が一人になる区間を表した安全安心マップを活用し、見守りポイントを修正(2006年2月)
- ・「近文あい運動」についてのアンケート調査(職員、PTA、見守り参加者)を行い、活動の不満や改善点を把握(2006年7~9月)
- ・日ごろの見守り活動への感謝の気持ちを伝える場を設け、定期的に地域の交流活動を実施



みまもり活動の様子

2006年10月 近文あい運動ワークショップ

- ・保護者家族、教員、あい運動参加者、北総研、計100名が地域を歩いて危険箇所、原因、方策などを検討
- ・大型マップに場所・原因などの記入、写真の貼り付け、討論・発表
- ・通学路の見直しと子ども110番の家の位置の再検討



危険要因の現場検証



マップ上での確認

2007年3月 安全安心マップ(積雪期編)作成

- ・積雪期における犯罪、交通事故に関する危険箇所及びよく遊ぶ場所を把握(2005年作成分と合わせて積雪期編と非積雪期編が揃う)
- ・北海道教育大旭川校の学生ボランティアが入力・集計作業を実施
- ・12月には、非積雪時の危険箇所について全校アンケート調査を行い、2005年作成分との経年比較(活動成果の確認)を行った

2008年10月 旭川市近文地区住まいと街の安全・安心再生計画の策定

- 国交省、警察庁の「住まいと街の安全安心プロジェクト」でモデル地区(全国13地区)に選定される
- ・これまでの運動の課題を整理し、今後の目標と方針、取り組み方策を定めたアクションプランを作成
- ・活動目的が子どもの安全から中高生や大人の安全も含む地域安全に発展

2009年11月 集中型みまもり量調査

- ・特別なみまもり活動をしなくても安全な地区が目標
- ・みまもりの実態を量として把握するため、校区内の3ルートについて、集中型みまもり量調査(非積雪期)を実施
- ・2010年2月には積雪期の調査を実施



2009年9月 くらがり調査①

- ・中高生の部活や塾の帰り道などの防犯対策として、くらがりによる不安箇所を把握するアンケート調査と校区内の照度調査(非積雪期)を実施
- ・2010年2月には積雪期の調査を実施



愛媛県松山市久米地区

久米地区は松山市の南東部、市役所から約5kmに位置する郊外住宅地で、4小学校区（1中学校区）に対応します。

2004年度以降、公民館が主体となって子どもから大人まで安全マップづくりに取り組み、公園の見直し改善や街灯の増設などの防犯対策から、多様な地域の活動・交流に広がっています。

2009年度は、前年の安全マップを受けて、久米小学校周辺の通過交通、福音公園の不安を重点課題に挙げました。

当地区では、「車の通り抜け調査」及び「身近な公園調査」を実施しました。



■2009年度 地域安全マップ

久米地区のまちの様子



■これまでの防犯活動の取り組み

2005年8月 安全マップづくり①

- ・ NPO しょうまの提案を受け、久米地区青少年健全育成連絡会がまちづくりに繋がる初めての安全マップづくりを久米地区4小学校で実施
- ・ 簡易 WebGIS「カキコまっぷ」を活用し、インターネット上でも情報を収集・共有
- ・ 有志の寄付により、作成されたマップの写真を掲載した冊子 3000 部を作成・配布
- ・ すぐに南久米公園の木の伐採、久米小北側の防犯灯設置などの改善



マップづくりの発表会

2008年3月 安全マップづくり②

- ・ 久米小学校で実験的に「つたえる」をキーワードに、小学校時代にマップづくりを経験し、中学生になっている子どもをリーダーに「まちあるき」ワークショップを実施。新入学生にマップを配布
- ・ 交通安全、(ネガティブチェックに陥らないよう) いい所探しを重点化
- ・ まちあるき後、公民館で座談会「小学校横の通学路を安全に」を開催。大人が久米小前の道路の交通安全問題について集中討議



中学生によるまちあるき

2009年2月 安全マップづくり③

- ・ 筑波大学の協力により3小学校でマップづくりを実施

<久米学校支援地域本部報告会※(3月)>

- ・ 筑波大学作成による新入生用マップのお披露目
- ・ まちあるきで発見した主要課題を各校のコーディネーターが発表
久米小学校前の道路の交通安全と、福音公園の安全性の2点を久米地区の重点課題に

※学校支援地域本部とは、「地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図るために実施している事業」(文部科学省)



配布した新入生用マップ

2009年6月 「福音公園を考える会」

町内会長、子ども会、公民館、学校が参加し、「福音公園を考える会」を設立

2009年7月 車の通り抜け調査

重点課題とされた久米小学校前道路の交通安全について、車の通り抜け調査を実施



2009年7月 身近な公園調査

重点課題とされた福音公園の安全性について、保護者への意識調査、現地防犯診断、ワークショップなどを実施



2. 調査の経緯と配慮・工夫点

(1) 旭川市近文地区・みまもり量調査の経緯と配慮・工夫点



調査の事前説明会



集中調査の様子



調査結果の報告会の様子
(2009年度)

- ・調査対象（地域・ルート）の選定は、都市計画基礎調査と現地調査をもとに特性の異なる3地区を専門家が選定しました。
- ・集中型みまもり量調査（集中調査）は、地元住民や地区内の高校生、小学校、社会福祉協議会等が参加して実施しました。後半（夕方）は高校生も加わって調査できるよう調査時間・日程の調整を行いました。
- ・調査票については、わかりやすく、記入しやすいように、模擬調査を実施して改良を加えていきました。特に、日常型みまもり量調査（日常調査）については、集中調査での経験を踏まえて、より簡易でわかりやすいよう工夫しました。
- ・集中調査の実施にあたっては、ルートを確認するため、調査のはじめに練習時間を設けました。
- ・また、調査が不安な方の場合は、記録する人とカウントする人を分けて二人体制で行うとともに、サポートする専門家が巡回し、調査の不明点等を解消できるよう工夫しました。
- ・その後も、日常調査を継続して実施しています。

■みまもり量調査の実施経緯

2009年度（平成21年度）	
9月	事前調査（調査対象ルートの事前確認）
10月8日	調査試行、記録用紙等の修正・加筆、ルートの再考
11月4, 5日	集中調査（非積雪期）実施
2月2, 3日	集中調査（積雪期）実施
2月23日	「緊急」子供を守るための住民懇談会&ネットワーク会議にて調査結果の報告、意見交換
2010年度（平成22年度）	
10月25日～ 11月26日	日常調査（非積雪期）実施
1月17日～ 2月18日	日常調査（積雪期）実施

(2) 松山市久米地区・車の通り抜け調査の経緯と配慮・工夫点



事前の調査地点確認の様子



調査の事前説明会の様子



調査の様子

- ・調査対象（地域・地点）の設定は、地元の状況をよく知る方々と専門家が現地で相談して決めました。
- ・調査員の安全性やナンバー確認のしやすさを考慮して調査地点を探すとともに、隣地に調査協力を依頼しました。
- ・調査は、学校やPTA、防犯ボランティアの協力で行いました。
- ・久米地区では、トラックなど特定の車種が問題となっているわけではなかったため、車種区分は調査しませんでした。
- ・自動車のナンバープレートの記録方法としてビデオカメラやボイスレコーダーを利用する方法もあります。久米地区では、事前調査の結果、通過交通量がそれほど多くなく、スピードも速くないことが確認できたことから、目視で確認し記載することにしました。
- ・調査後には、車の通り抜けの状況・問題について、調査員を対象とするアンケートや意見交換の場を設けました。

■車の通り抜け調査の実施経緯

2009年度（平成21年度）	
6月26日	事前調査（調査地点の確認・設定）
7月13日	調査地点の確認、調査員への事前説明
7月14日	車の通り抜け調査の実施
10月20日	調査結果の報告・意見交換、提案 「青少年健全育成連絡会」での報告

(3) 旭川市近文地区・くらがり調査の経緯と配慮・工夫点



調査の事前説明会の様子



照度調査の様子



街灯調査の様子



調査結果の報告会の様子



計測のための道具

- ・調査対象は、近文小学校地区内ほぼ全域としました。
- ・2009年度はまず近文あい運動参加者300人を対象にアンケート調査を実施し、くらがりによる不安箇所、改善必要箇所を把握しました。
- ・照度調査は、非積雪期と積雪期に分けて実施しました。
- ・調査日が複数日に渡るため、周辺の光の影響を受けにくい小学校グラウンドの特定地点において、調査前後の照度を計測し、調査結果の補正を行いました。
- ・夜間の調査ということで、昼間は働くPTAのお父さん方や学校の先生にも協力をお願いしました。
- ・照度調査では、水平面照度と鉛直面照度を調べました。専門家の協力により、調査をできるだけ正確かつ円滑にできるように計測のための道具（写真）を作成しました。
- ・街灯調査で、位置・管理番号、明るさ障害要因についても調査しました。
- ・1回目の調査員に対するアンケートで、「地図上での位置がわかりにくい」という指摘があったため、2回目以降の調査票は建物入りの地図をベースとしたものに変更しました。

■くらがりの調査の実施経緯

2009年度（平成21年度）	
8月20日～ 9月1日	くらがりアンケート調査の実施（対象：近文あい運動参加者300人）
9月初旬	計測のための道具の作成
9月17, 18日 10月26日	照度調査（非積雪期）実施（553箇所）
2月2, 3日	照度調査（積雪期）実施（479箇所）
2月23日	「緊急」子供を守るための住民懇談会&ネットワーク会議にて調査結果の報告・意見交換
2010年度（平成22年度）	
9月6, 7日	照度調査（非積雪期）実施（572箇所）

(4) 松山市久米地区・身近な公園調査の経緯と配慮・工夫点



調査の事前説明会の様子



現地調査の様子



調査後のワークショップの様子

- ・問題とされる公園の特徴を相対的に把握するため、学区内5カ所の公園を調査対象としました。
- ・現地調査に先立ち、公園に対する意識調査として、福音小学校の全児童の保護者を対象にアンケート調査を実施しました。保護者の公園への意識を把握するとともに、調査結果をフィードバックすることで、問題意識の共有を図りました。
- ・現地調査は、学校やPTA、防犯ボラティアの協力で行いました。とくに公園の主な利用者は子ども達となるため、保護者と子ども(小学生)の参加により行いました。問題点を診断するだけでなく、良いところを伸ばし愛着のあるものにしていくことも大切です。そのため、「好きなところ・良いところ」、「花壇やプランターなど住民が直接管理できる設備の有無」などをチェック項目に追加しました。
- ・また、現地調査では公園を利用している人や管理者などの意識や意向についてもヒアリングを行いました。
- ・調査後、現地調査の結果をもちより、問題点や良いところなどを模造紙に整理し、問題意識の共有を図るためにワークショップを実施しました。

■身近な公園調査の実施経緯

2009年度(平成21年度)	
6月26日	事前調査(調査対象の事前確認)
6月30日	「福音公園を考える会」を福音小で開催
7月初旬	地図作成のための基礎的情報の収集
7月13日	公園に対する保護者等の意識調査(アンケート調査)の実施
7月16日 ～27日	アンケート調査の回収・集計・分析
7月23日	5カ所の公園の防犯診断の実施・ワークショップ
10月20日	「青少年健全育成連絡会」での調査結果の報告・意見交換・提案